

2026年2月16日

各位

株式会社 大垣共立銀行
株式会社 OKB 総研

岐阜県および東海農政局との 「ぎふ農業活性化の推進に向けた相互連携に関する協定」の締結

大垣共立銀行（頭取 林 敬治）およびOKB総研（社長 小川 真二）は本日、岐阜県および東海農政局と「ぎふ農業活性化の推進に向けた相互連携に関する協定」を下記の通り締結しました。

本協定は、岐阜県が今年度末に策定する農政の基本計画を契機に、農業の新たな担い手の確保や農畜水産物の国内外の販路拡大などの分野で、相互連携を活かした実効性のある課題解決や支援を行うことを目指すものです。

OKB大垣共立銀行内のアグリビジネスサポートデスクでは、事業者の資金調達や設備投資、6次産業化への取り組みなど幅広い相談に応じています。OKB総研内にはOKB農林研究所を設置しており、アグリビジネス分野における調査や研究などを通じて、農業部門のノウハウを培ってきました。今後はこれらのノウハウを活かし、連携機関とともに地域の農業活性化に貢献していきます。

記

■協定概要

名 称	ぎふ農業活性化の推進に向けた相互連携に関する協定
締 結 日	2026年2月16日（月）
締 結 者	OKB大垣共立銀行、OKB総研、岐阜県、東海農政局
目 的	農業の新たな担い手の確保や農畜水産物の国内外の販路拡大などの分野で、相互連携を活かした実効性のある課題解決や支援を行うことにより、岐阜県の農業活性化を推進する
連携内容	<ul style="list-style-type: none"> （1）多様な主体を含めた農業の担い手確保に関すること （2）産官学の連携を通じた生産強化に関すること （3）国内外での販路拡大や地消地産の推進に関すること （4）その他、相互に連携及び協力することが必要と認められる事項に関すること

以 上

